



講演会、25回定期総会

市原 美幸

今年の梅雨は雨が多く、色鮮やかに咲く紫陽花に心和む季節となりました。一方で、地震や台風も続き、少し不安を感じる日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。おかげさまで、今年も6月に開催した講演会および定期総会を無事に終えることができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

第64回講演会

今回の講演会では、看護師・ファイナンシャルプランナー・家族会計アドバイザーであり、一般社団法人患者会計サポート協会代表理事の黒田ちはるさんを講師にお迎えし、「がん治療で困らないためのお金と仕事のポイント」と題してご講演いただきました。

がんと診断された後、多くの方が医療保険や公的支援制度について十分な情報を持たないまま治療を開始しています。アンケートでは、「何を、いつ相談すればよいのかわからなかった」と回答の方が半数近くにのぼったとのことでした。

講演では、医療費や収入の変化、長期治療に伴う家計への影響、就労との両立など、「がん治療の経済毒性」についてわかりやすくお話いただきました。正しい情報を知ることが、安心して治療を続けるための大きな支えになることを改めて実感しました。講演内容の詳細は、ぜひ誌面をご覧ください。

第25回定期総会

総会は、徳山和平議長の進行により議事次第に沿って滞りなく開催されました。今年度より年会費を500円値上げすることについて、ご承認をいただきました。これまで繰越金の減少が続く中、値上げをできる限り見送ってまいりましたが、会員数の減少に加え、郵送料や通信費の増加、昨年度にはプリンターの更新なども重なり、運営費の確保が難しい状況となっています。



皆様におかれましても、さまざまな物価高騰が続く中でのご負担となりますが、ご理解を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

また、顧問の芝祐信先生は、ご都合により来年3月をもってご退任されることとなりました。長年にわたるご支援に深く感謝申し上げます。後任につきましては、決まり次第ご報告いたします。

なお、今回の議案は、会員 47 名のうち会場出席 10 名、委任状 22 名により過半数の承認をいただき、可決されましたことをご報告申し上げます。

25 周年を迎えて

当会は今年、発足 25 周年を迎えました。四半世紀にわたり活動が続けることができましたのは、会員の皆様をはじめ、多くの方々の温かいご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

近年はインターネットや AI などの普及により、がんに関する情報を個々に入手しやすい時代となりました。この節目を機に、これからの時代に求められる患者会の役割を改めて見つめ直し、より良い会の運営について検討していきたいと考えております。

会員の皆様からのご意見、ご提案をお待ちしております。今後とも、府中がんケアを考える会へのご理解、ご支援、ご協力を賜りますよう、役員一同お願いを申し上げます。

【報告】令和 8 年度「府中がんケアを考える会」

定期総会を開催いたしました

府中がんケアを考える会は、定期総会を 6 月 14 日に開催し、10 名（委任状 22 名）が参加しました。議長には一般会員の徳山和平さんが選出され、会場参加者と委任状を合わせて、会員総数の過半数となり総会が成立しました。

徳山議長による議事進行のもと、活動報告や決算、監査報告、役員体制、規約の一部改正、活動方針、事業計画、予算案について、市原美幸会長をはじめとする各役員から報告と説明、提案があり、すべての議案が原案の通り可決承認されました。

特に今回の総会では規約の一部改正で、年会費の値上げについて丁寧な説明を行いました。会の運営には、会員の皆様のご理解とご協力が欠かせません。これまでの年会費 2,000 円から 2,500 円へ 500 円の増額を求める内容でした。物価の値上げの折で、会員の皆様には大変心苦しい思いで提案いたしましたが、ご理解を頂き、おかげさまで無事に規約改正案が可決されました。心より感謝と御礼を申し上げます。

一通りの議案審議が終わった後、議長を務めていただいた徳山和平さんから、参加者全員に自由な発言を促していただきました。参加者からは、この会の存在自体が心の支えになっているとの声や、会の運営を務める役員に対する感謝のお言葉を頂戴しました。また、会の運営にかかる費用に対する収入面について、助成金や補助金の申請を試みるのはいかがでしょうかといったご提案もいただきました。

それらに対して役員からは、過去にも助成金や補助金に取り組んだ経緯を説明しました。一般的に助成金や補助金は、運営に対する費用をカバーするものではなく、プロジェクトやイベントなどの企画に対するものである事が多い為、なかなか難しい側面があるとの説明がありました。

あとは、会員数を増やすことが一番安定した財源になると見込んでおり、今後も新規会員を増やすための取組に力を入れていこう参加者全員で確認しました。

次に行なう行事として注目しているのが、11 月 15 日に開催を予定している「府中がんケア 25 周年記念講演会」です。広く一般市民にもご参加いただき、当会への入会のきっかけとなるよう取り組んで参ります。

会場にご来場いただいた方や Zoom で定期総会にご参加いただいた皆様に、心より感謝を申し上げ、定期総会の報告とさせていただきます。

文責：稲津憲護

講演会報告

「がん治療で困らないためのお金と仕事のポイント」

宮田乃有



2026年6月14日(日)14:00～15:30 プラッツ第3会議室にて、患者家計サポート協会代表理事の黒田ちはる氏を講師にお招きし、上記講演会を開催しました。参加者は会場が17名(会員13名、非会員4名)、オンラインでの参加が2名(会員1名、非会員1名)でした。

講演は黒田氏の自己紹介から始まりました。黒田氏は看護師の経験を経てファイナンシャルプランナー(FP)の資格を取得し、患者家計サポート協会を設立、がん患者さんやご家族からの相談のほか、執筆や講演活動をしてらっしゃいます。がんの治療が経済面に与える影響として、「がん治療の経済毒性」についての実態調査を行い、情報発信もされています。

FPは医療費・収入・生活費・教育費・住宅費の見直しや、必要に応じて家計の調整を支援します。黒田氏は、がん治療において医療ソーシャルワーカー(MSW)とFPが連携していくことの重要性を訴えてらっしゃいました。

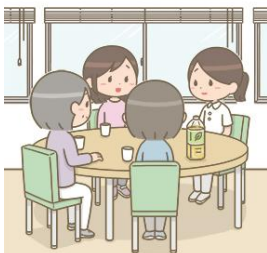
講演では、最近話題となっている高額療養費制度の現状について具体的な説明がありました。がん治療では、治療そのものにかかる医療費のほか、主に入院中にかかる食事代や差額ベッド料など治療以外にかかる費用があります。そのほか、通院に必要な交通費や宿泊費、ウィッグ代などが必要になります。高額療養費制度は年齢や世帯の所得区分ごとに自己負担額の月額上限を定めており、世帯で高額な医療費がかかっても各区分の月額上限を超えた場合には超えた分が支給されるという制度です。

高額療養費制度は2026年8月から改定され、新たに年間の上限が設定されます。この改定により、自己負担額が増える方、減る方、変わらない方が生じます。この違いは、所得のほか1か月ごとにかかった医療費と1年間にかけた医療費の合計によります。8月から起算するため、翌年の7月に年間の上限に達しているかどうかにより自分で申請する必要がある、いったん立て替え払いが必要になることが注意点です。

がんを治療していく過程では、個人にも世帯にも大きな経済的影響が生じます。しかし、実際にMSWやFPに相談したのは約半数とのことでした。黒田氏は、がん治療においては「制度」「働き方」「家計」の3つを同時に考えていくことが大切であるとおっしゃっていました。何をいつ相談したらよいのかわからなくても、いつでも病院の相談室などに相談することを勧めてらっしゃいました。

黒田氏は質疑応答のあとも会場に残ってくださり、会場参加の方の個別相談に親身に対応されている様子がとても頼もしく、印象的でした。

患者会より



5月24日 7人参加(リモート1名)

抗がん剤が使えなくなったが6月には陽子線治療を受ける予定。

余命を宣告され、高齢だが踏んばっている。など皆さんの現状が報告されました。

意外だったのはAI(Chat GTP など)の利用が多かったこと。かなり役立っているようです。知らなかった！

あんずまつりに参加して

6月7日(日)紅葉ヶ丘第二地域公園で「あんず祭り」(紅葉丘の自治会が主催)に参加しました。会結成初期より参加している地域イベントです。今年も会より3人、多摩総合医療センターからも1人ご協力を頂きました。

会場では「こどもクイズ」を開催。200人近くの小学生が立ち寄ってくれました。会場ではがん関連パンフの紹介、講演会・患者会のチラシ配布など会の宣伝に努めました。

木工細工、焼きそば、煮込みなどの店も出ています。来年も開催予定ですので参加してみませんか。



内匠様、目黒様の逝去を悼む

患者会のメンバー、内匠様が6月4日、目黒さんが6月22日お亡くなりになりました。目黒さんは余命半年と宣告されながら5年余りを生き抜いてきました。会の会議には毎回リモートで参加され、会報に何度も寄稿をいただきました。

内匠様はがんだけでなく心臓の治療も含め様々な病歴を乗り越えています。いつも奥様と患者会に参加され和やかな雰囲気を作り出していただきました。6月には陽子線治療を開始する予定で、最新治療を楽しみにされていたそうです。

私たちに意欲と和やかさを与えていただいたお二人に感謝し、ご冥福をお祈りします。

2026年～2027年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。

あんずまつり、協働まつり以外はリモートでの参加ができます。ZOOM使用。お問い合わせください。

日時	行事	会場
7月26日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第6会議室 B
9月27日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
11月15日(日) 午後1時半～3時半	講演会・結成25周年パーティー	ル・シーニュ6階・第2会議室
11月29日(日) 午前10時～4時	府中協働まつり	ル・シーニュ5, 6階
12月 6日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
1月24日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
3月28日(日) 午前10時～4時	患者会	ル・シーニュ6階・第6会議室 A
5月23日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第7会議室 A
6月13日(日) 午後1時半～3時半	講演会・総会	ル・シーニュ6階・第3会議室

編集後記

前立腺のマーカーPSA が10になりまして経過を見る、ということになりました。昨年から計報が続きお一人おひとりの顔が浮かびづらいところです。今年は結成25年、患者会も100回を迎えます。11月25周年講演会を楽しみにしてください。意外に多いAIの使用、会議もリモート、パソコンを軸に社会関係が成立しているいやな時代に入ったようです。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org